

女川町 支援活動レポート

2015.10.10～2015.10.11

(東京都港区 みなと区民まつり2015)



頑張ろう日本！ 頑張ろう東北！



平成27年10月27日(火)

東北応援団 白金支部

女川町 支援活動レポート

東日本大震災により、亡くなられた方のご冥福を、心からお祈り申し上げるとともに、被災された皆様に対し、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興を、心からお祈り申し上げます。

1. はじめに

2012年に初めて「みなと区民まつり」に女川町観光協会さんとコラボレーションという形で出店させていただいてから、今年で4回目の出店となりました。

女川町は、東日本大震災による津波により、湾岸施設、水産加工工場、製氷施設なども甚大な被害を受けました。みなと区民まつりに初めて出店した2012年は中東カタールからの支援で大型冷凍・冷蔵施設「マスカー」が建設され、秋刀魚の水揚げが再開、水産業の本格的な復興の狼煙があげられた年です。その後、「マスカー」の近くに水産加工団地が整備され、今年2015年には魚市場も再開、今後、2つ目の大型冷凍施設も稼働します。

水産業以外にも町の復興は着実に進んでおり、今年3月にはJR石巻線が女川駅まで再開通、ウミネコがはばたく姿を表現した立派な「女川」駅舎が完成しました。その駅舎から港へと続くプロムナードには旧女川駅を再現した「あがいんステーション」(水産業体験＋物産品販売施設)があり、過去から未来へ進む女川町を象徴しています。プロムナード沿いに少しずつ新しい店舗が開店、そして、いよいよ12月下旬には、テナント型商店街のオープンセレモニーが計画されています。こうして女川町はさらに前へと踏みだしていきます。

東北応援団 白金支部では、支援を通じて知った女川町の美味しい物産を東京の皆様にご紹介し、女川町という町に関心を持っていただきたいと今年も出店準備を進めさせていただきました。

以下、今回の活動の報告になります。

2. 活動報告

(1) 概要

- ◆ イベント名 みなと区民まつり 2015
- ◆ 日時 2015年10月10日(土) 11:00~17:00
 2015年10月11日(日) 10:00~16:00
- ◆ 会場 都立芝公園8号地



「みなと区民まつり」ピークの時間、たくさんのお客様がいらしてくださいました

(2) 出店目的

女川町PRとして、女川の物産を販売、及び女川の食材を使った実演販売を行う。
そして、女川町の食材の魅力を来場者に認知していただくこと。

(3) 出店の構成

a. 実演販売、および女川ポスター展全集、さんまの付箋紙の販売

- ◆ 女川汁 : 100食
 スペシャル女川汁 : 200食
 スペシャル女川汁 ホタテダブル : 100食
- ◆ ホタテバター焼 : 100食
- ◆ 小女子の炊込みご飯 : 120食
- ◆ ホルモン焼き : 200食
- ◆ 生ビール(女川ホップペール) : 150杯
- ◆ および女川ポスター展全集
- ◆ さんまの付箋紙 4種

b. 「蒲鉾本舗 高政」及び「マルキチ阿部商店」の女川町物産販売サポート



白金支部オリジナル「スペシャル女川汁」

(4)活動レポート

10月9日(金) 午後

今回も、白金支部の地元の協力者、橋本様のご厚意で、集会所で荷物の受け入れ、道具集めを行いました。天気予報によると、日曜日は雨。白金支部の実演販売品は土曜日になるべく前倒しをして販売することを考え、各日に使う食材を仕分けしていきます。

10月10日(土)「みなと区民まつり 2015」 1日目

朝

みなと区民まつり、当日。秋晴れの清々しい朝を迎えました。おまつり日和です。たくさんの方に女川の美味しい物を味わっていただけそうと期待が膨らみます。運搬係のメンバーは、橋本家1階の集会所で積み込みを行い会場に向かいます。調理の後方支援のメンバーは、ご協力いただいた大門のホルモン焼きの名店「夏冬」に集合し、ご主人の加藤さんにもお手伝いいただきながら、白金支部の新商品の「マルキチ阿部商店」さんの小女子を使った「小女子の炊込みご飯」や、「ホルモン焼き」の下ごしらえを進めます。

参加メンバー全員がブース前に集合し荷物を搬入、調理班は「女川汁」の湯沸しから始めます。その他のスタッフはポップの取り付けを行います。そして、「女川町観光協会」さんよりお預かりしている大漁旗を取り付け、漁業の町、女川町の息吹がブースに吹き込まれました。「女川町」の幟は遠くから見えるように、高い位置に取り付けます。

女川町より「蒲鉾本舗 高政」の高橋 正樹さん、「マルキチ阿部商店」の阿部 淳さんもお見えになり、商品を1つ1つ丁寧に並べ、準備が進められます。実演販売エリアも注文窓口を整え、窓口脇には女川町観光協会さんのオリジナルアイテム「さんまの付箋紙」、「女川ポスター展全集」をディスプレイしました。

「女川汁」は「ワイケイ水産」さんからお取り寄せした美味しい秋刀魚のすり身を丸めて浮かべ味つけも調いました。ホタテ入りの女川汁、「スペシャル女川汁」、「スペシャル女川汁ホタテダブル」のご注文に備えてホタテも入れていきます。帆立は女川町の老舗の魚屋、「おかせい」さんからのお取り寄せです。その他、「ホタテバター焼き」、「ホルモン焼き」の準備も整います。

いよいよ開場15分前、本日の注意事項などが伝えられました。二日間事故なく、女川町の魅力をたくさんの方に伝えられるよう、士気を高めます！ブース前には少しずつ人が集まり始めました。



ホルモン焼きは鉄板で！



女川汁の味付けも決まりました！



物販ブースも準備中

11:00 販売開始

開場のアナウンスがあり、いよいよ販売開始。「女川町の日本一美味しい蒲鉾です！」「職人さんが一本一本手作りの、秋刀魚の昆布巻きいかがですか！」と通る方々にお声をかけていきます。

程なくして、物産ブースにお客さんが次々といらっしゃいました。この場所での出店も4回目になり、「ここに来たらこれを買える」と女川町の物産が認知されてきているようです。リピーターの方も多くいらしてとても嬉しく思います。

午後

ホタテのバター焼きの香りに惹かれ、実演販売の方も注文がコンスタントに入ります。「小女子の炊込みご飯」は、炊けてブースに運ばれ、陳列する度に、瞬く間に注文が入り次々と売れていき、大好評です。召し上がった方には「美味しいね」とお声をかけていただき、小女子を含めた物産の販売エリアをご案内しました。

その後も順調に注文が入り、「ホタテバター焼き」はすでに予定販売数を上回る勢いです。「女川汁」も好評で、「この秋刀魚のすり身はどうやって作ったの？」という質問をいただき、「ワイケイ水産」さんをご紹介し、お取り寄せ方法をご案内しました。

物産販売の方では、用意した「蒲鉾本舗 高政」さんの蒲鉾がすべて売り切れ、この日に届いている翌日の販売分も急遽ブースに運び込むことになりました。実演販売も、翌日の食材もできる限りこの日に売ってしまう判断をし、スタッフ一同休みなく16時まで調理、販売を続けます。



ブースの中からも声を出して呼び込みをします



ホタテバター焼きは香りがバツグン！



夕方まで人出が絶えず…

17:00 1日目終了

追加でブースに持ち込んだ蒲鉾も完売、「マルキチ阿部商店」さんや実演販売でも、翌日の分を残して完売し、無事に撤収となりました。この日は、調理場としてもお借りしたホルモン焼き「夏冬」で懇親会を予定していた為、撤収後は全員で移動です。

懇親会

一日のみのサポートだったスタッフに、お疲れ様の言葉をかけ、無事に一日目を終了したことに対し、互いに労い合いました。毎回催事に積極的に参加してくれている「チーム女川」のメンバーが、今回も調理、接客等、あらゆる場面で活躍してくれたことに感謝を伝えつつ、翌日の、また今後のヒントとなる感想をもらいます。ブースにいらして下さる方々と、コミュニケーションが取りやすい「みなと区民まつり」では、女川の魅力を伝える方法を改めて考えるきっかけとなると、スタッフで参加する方は感じているようです。女川町からいらして下さった高橋 正樹さんや、阿部 淳さんも交え、年末に控えるプロムナードのオープンの話などお伺いしながらお話が尽きることはありませんでしたが、翌日も控えているため、10時で解散となりました。

10月11日(日)「みなと区民まつり2015」2日目

朝から予報通りの雨です。時折、地面に激しく打ちつける雨は、不安を煽りますが、午後には雨があがるという予報を信じ、準備を進めます。前倒しで販売を行った「蒲鉾本舗 高政」さんから急遽追加の蒲鉾が発送され、白金の宅配センターに引き取りに、また前日好評だった「小女子の炊込みご飯」用の追加のお米を買い足しに行きます。ホタテは残り少なくなったため、この日は「スペシャル女川汁ホタテダブル」の販売は中止、「ホタテバター焼き」、「スペシャル女川汁」用としました。そして、この日も後方支援のメンバーによりホルモン焼き「夏冬」で、「小女子の炊込みご飯」の準備に取り掛かります。

10:00 販売開始

徐々に雨も小降りとなってきました。粗方の準備は整い、お客様を迎える時刻となりましたが、やはり朝からの雨の影響か、例年、日曜日の朝から来場して下さる客足が伸びません。この日予定されていたパレードの中止の発表もあり、午後の人出も心配されました。

お昼近くになり、ようやく会場の人出も多くなってきました。雨は上がりましたが、肌寒い気温は続いていたので、温かい女川汁が人気です。「小女子の炊込みご飯」と共に「女川汁」を購入され、その場で屋食として召し上がって下さる方もいらっしゃいます。

物産販売にも、立ち寄って下さるお客様が増えてきます。「マルキチ阿部商店」さんでは、女川の海のミネラル、太陽の恵みを受けた小女子の天日干しに、看板商品である職人さん手作りの昆布巻きシリーズ「リアスの詩」が人気です。「蒲鉾本舗 高政」さんでは、昨日は売り切れて買えなかったからと、再度足を運んで下さるお客様もいらっしゃいました。この日に追加で店頭販売できなかった商品を狙ってこられたお客様には、連絡先を記入したお取り寄せリストをお渡ししました。

午後

午後になると、「ホタテのバター焼き」や「ホルモン焼き」をつまみに、「麻布十番納涼祭り」に続いて、このお祭りでも販売させていた、「女川ホップペール」を購入して下さるお客様が増えてきました。女川町のビアバー「ガル屋」さんが、県内の醸造会社と作ったこのクラフトビールは、香ばしくてフルーティ、一度飲むと癖になる味です。実際、「麻布十番納涼祭り」でこのビールを購入され、名前を覚えて下さったお客様が「もしかしたら麻布でも出してた？すごく美味しくて、また飲みたいと思っていたから、今日見つけられて良かった！」と、ご購入して下さる方がいらっしゃいました。こうしたお客様の声も、続けて催事を行わせていただいているスタッフの励みにもなります。

物産販売、実演販売ともに、前日に前倒しで販売を行ったこともあり、午後3時ごろには、販売アイテムも残りわずか、撤収の準備を進めながら、ブースに来て下さるお客様の対応をさせていただきました。

16:00 2日目終了

「みなと区民まつり 2015」終了となりました。無事に終了した心地よい疲れを感じながらも、あと一息、撤収にはいります。今回、調理などで場所をご提供いただいたホルモン焼き「夏冬」で、洗い物もさせていただき、最後まで大変お世話になりました。夏の催事から、白金支部の出店ブースを女川色に染めてくれていた、大漁旗、女川町の幟を箱に収め、今年予定していた催事がすべて無事に終了いたしました。

積み込みも終わり、解散前に全員がブース前に集まり、2日間無事に終えたことを報告、「蒲鉾本舗 高政」の高橋正樹さん、「マルキチ阿部商店」の阿部淳さんより、一言づついただき、一本締めをして解散となりました。



「みなと区民まつり 2015」、無事に終了いたしました

3. 活動を終えて

来場者との距離が近いこの「みなと区民まつり」では、毎回、様々な取り組みを行ってまいりました。今年は、「マルキチ阿部商店」さんの販売アイテム、小女子を使って「小女子の炊込みご飯」というコラボ商品を初めて販売、好評をいただきました。女川町の美味しいものを新しい形で紹介させていただくことができました。どなたに対しても、誇れるほど美味しい女川町の海の幸、物産品だからこそ、自信をもってお勧めすることができますし、皆さんに美味しさを知っていただきたいという想いで、スタッフ一同、活動させていただきました。

今回も「女川町観光協会」様のお力添えでブース出店をさせていただきました。「蒲鉾本舗 高政」の高橋 正樹様、「マルキチ阿部商店」の阿部 淳様には、女川町よりお越しいただきまして、出店のご協力をいただきました。本当にありがとうございました。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

4. 今後の活動

本年度の予定していた活動はすべて終了いたしました。女川町の最新のお知らせは月に一度配信している「女川NEWS」で、引き続きお知らせいたします。また、今後の活動予定が決まりましたら、弊会のホームページでもお知らせいたしますので、ご参照くださいませ。今後とも「女川町」のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

5. 補足事項

(1) 参加者 (敬称略/順不同)

安部 由美	後藤 奈津子	平井 智子	藤原 朗
小幡 真理子	三谷 嗣郎	長南 美貴	末石 義史
三上 加寿子	宮野 貴	楠 貴裕	黒川 涼香
稲吉 華那	久保田 亜希	池田 木綿奈	中村 亮士
高橋 知樹	吉野 琢己	北村 悠馬	林 郁美
佐藤 宏樹	岩立 文香	矢本 貴俊	川端 陽子
工藤 史大			

(2) 後方支援者 (敬称略/順不同)

(故)橋本 翔二
川口 隆
渡辺 静江
小澤 雅志

橋本 直
加藤 豊
近藤 尚之

橋本 渉
後藤 誠史
石垣 健

石川 重美
後藤 香保子
小澤 徹

(3) 支援物資提供 (敬称略/順不同)

大門ホルモン焼 夏冬

(5) 協力 (敬称略/順不同)

女川町観光協会

蒲鉾本舗 高政

マルキチ阿部商店

(9) 主催元

Kissポート財団事業課内 みなと区民まつり実行委員会事務局

皆様からの、あたたかいご支援・ご協力のうえで、成り立っております。
本当にありがとうございました。
私達は、被災地への支援活動を、継続していきます。今後とも、どうぞ宜しくお願いいたします。



平成27年10月27日
東北応援団 白金支部
工藤 史大

★東北応援団 白金支部 WEBサイト★

<http://www.onagawa.e-ouen.jp>

※このレポート内にあります画像の流用及び転用は、一切禁止します。

Copyright (C) 2012 Tohoku-Ouendan All Rights Reserved.